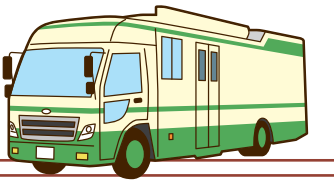


健診を受けるのに「自分は大丈夫」「早すぎる」はありません！



健康・保険課 健康増進係 ☎096(232)4912

町が実施しているがん検診の一覧

前立腺がん検診・骨粗しょう症検診・肝炎検査は追加して受けることができます。



胃がん検診

対象：40歳以上

方法：バリウム検査

胃がんは罹患する人は50歳代以降に多く、日本人の死亡原因の上位に位置するがんです。バリウム検査では、胃の表面に着いたバリウムの状態を観察することで、胃がんなどで起こる変化を見つけることができます。

また、胃全体の形を観察するだけでなく、食道や十二指腸の状態も確認できるのが特徴です。



肺がん検診

対象：40歳以上

方法：胸部X線検査

町の肺がん検診受診率は、他の検診に比べて低い状況です。肺がんは、がん死亡者数が男性1位、女性2位と多いです。早期発見のために毎年検診を受けてください。65歳以上の人は結核検診も含めて無料です。



大腸がん検診

対象：40歳以上

方法：便潜血検査(2日法)

便に血液が混じっていないかを調べ、病気の疑いを見つけ出す検査です。がんやポリープなどの大腸疾患があると大腸内に出血することがあり、その血液を検出することが目的です(通常は微量で、目には見えません)。



子宮頸がん検診

対象：20歳以上の女性

方法：細胞診

30～50歳代の女性に多いがんです。主にHPV(ヒトパピローマウイルス)感染が原因で、多くの女性が1度は感染するウイルスです。通常は免疫機能により自然にウイルスが排除されますが、一部が子宮頸がんに進じます。子宮の入り口を専用のブラシでこすって細胞を取り、異常な細胞がないか顕微鏡で確認します。



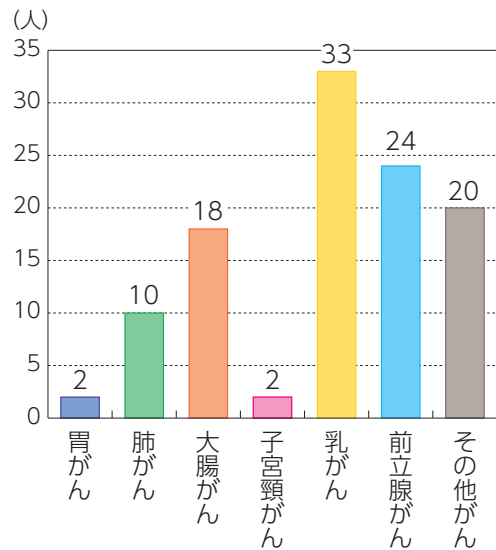
乳がん検診

対象：30歳以上の女性

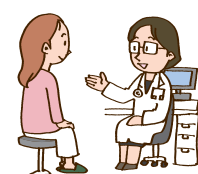
方法：超音波検査・マンモグラフィ検査(年齢によって検査方法が異なります)

女性の中で罹患する人が1番多いがんです。超音波検査では、ゼリーを塗った乳房の上から小さな器具を当て、反射板を画像化して乳房内を調べます。マンモグラフィでは、乳房を撮影台と板の間に挟み、乳房のX線写真を撮ります。

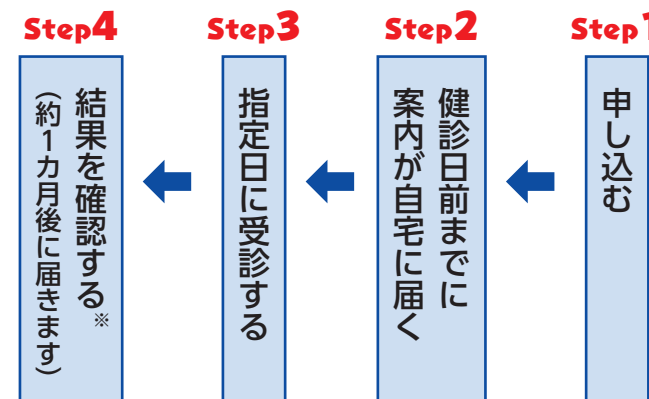
町のがん検診(人間ドックを除く)で見つかったがんの内訳
(令和2年～5年度：合計109人)



Q 健診で病気やがんが見つかったら怖いのですが・・・
A 健診の結果、生活習慣病のリスクやがんの疑いがあると分かっても、早めに気づけば対処できます。精密検査項目があった場合は、必ず精密検査を受けてください。
Q 病院に通っているのに健診は受けなくていいですよね？
A 通院時の検査は治療中の病気に関する項目に限られ、隠れている病気に気づかないことがあります。また、健診を定期的に受けることで体の経年変化が確認でき、体調管理や生活習慣の改善につながります。



健診結果からリスクに応じて保健指導
 町では、健診結果説明会・特定保健指導を実施しています。町の保健師や管理栄養士、看護師が保健指導として、生活習慣を見直すサポートや、食生活や運動などの生活の見直し、健診結果の見方などの相談に応じます。自分の健康を守るために活用しましょう。



※菊陽町国民健康保険・後期高齢者医療保険の人で特定健診を受けた人は、健診結果説明会で結果をお渡しします。

健診の流れ



健診は、年に1度自身のカラダと向き合う時間
 「仕事や子育て、家事に趣味など、日々やる事が多く忙しい」と、自身の健康管理がおろそかになっていませんか。その結果、自覚症状がないまま病気が進行し、重症化する人もあります。病気になるって後悔しないためにも、特定健診・がん検診について正しい知識を持ち、自身の健康について考えてみましょう。

特定健診

特定健診とは、運動不足や偏った食生活などが原因となる、心臓病や高血圧症・糖尿病などの生活習慣病の発見や、重症化の予防を目的とした健診です。生活習慣病は、初期には自覚症状がないまま症状が進んでいきます。健康なうちから健診を受けることで、自覚症状がほとんどない生活習慣病を早期に見つけることができます。若いときから、健診を受ける意識と習慣が大切です。

総合健診を受けていない40歳以上の人に、がん複合検診(秋の集団検診)の申込書を7月上旬に送付します。申込期間が短いので、届いたら必ず中身を確認して申し込んでください。



詳しくはこちら→

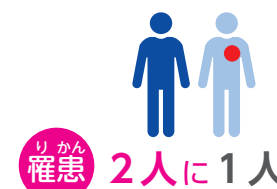


40歳以上の生活保護受給者は無料で特定健診が受けられます。希望する人は、健康・保険課窓口か電話で申し込んでください。

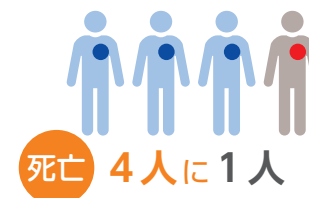
詳しくはこちら→



がんにかかる人



がんで亡くなる人



町の令和6年度の主要死亡原因の1位はがん(悪性新生物)です。がんを予防するためには、早期発見・早期治療が大切です。

がん検診3つのポイント

1. 費用の約7割を町が助成し、負担が少なく受診できます。
2. 誰でもがんになる可能性があります。自分は大丈夫という思い込みは危険です。
3. 早期発見・早期治療で、9割以上が治ると言われています。

最後にがん検診を受けたのはいつですか？

日本人が生涯でがんになる確率は、男性62・1割、女性48・9割で、約2人に1人が「がん」になり、約4人に1人が「がん」で亡くなるといわれています。がんは無関係な人はいません(国立がん研究センターがん対策情報センター「がん登録・統計」)。